

新基地建設反対名護共同センター ニュース

見通せない工事に、見通せない税金の投入

大浦湾の生き物たち

ウクライナ・ガザと同じ

国の「代執行」で大浦湾の工事を強行してから一カ月余が経過した。大浦湾は上流のマングローブの群生から流れてくる養分の溜まり場です。その海域から五三三四種の生物が確認され、そのなかに二六二種の絶滅危惧種が含まれています。環境影響評価書で記録され防衛省も認識しているが、護岸建設のためのケソン(コンクリート製の箱)の置き場になる海上ヤード建設を着工し、大浦湾の透明なブルーの海が白く濁る様子が確認されている。さらに航空機への弾薬搭載場所にあたる「K5」護岸の造成にも着手。最深九十Mに及ぶ広大な軟弱地盤が広がり、地盤改良のための七万本あまりの砂杭を打ち込むという難工事です。

「完成」を見通せず防衛省は、「普天間基地の返還時期について現段階で具体的に示すことは困難」と述べています。

軍事費四十三兆円は有識者からさらに「大軍拡への負担増」を提案されている。その有識者のメンバーは座長に榎原定征・日本経団連名誉会長、日本の企業最大手 三菱重工、通信最大手 NTT等大企業の面々です。

政治家と大企業との関係が目に見えるかのうです。



よみがえる米軍ジェット戦闘機墜落事故の惨劇

1959年6月30日午前10時40分頃、米軍のジェット戦闘機が現うるま市松島区に墜落しました。約150m先の宮森小学校のコンクリート校舎6年3組の庇に激突した。この事故で18名(内後遺症により1名)の尊い命が奪われ、200人余の重軽傷者を出し、数千人の心に傷を負わせた大惨事が起きました。

この宮森の惨劇を語り継ぐ「石川・宮森630会」の事務局長の自宅からわずか約200mのゴルフ場跡地に、2021年8月にうるま市勝連の陸上自衛隊勝連分屯地に地対艦ミサイルを配備する計画と共に、南西諸島に配備される(SSM)地対艦ミサイル部隊を統括する第7地対艦ミサイル連隊本部が設置されると報道されました。

2023年度の国の予算要求において、部隊配備等に関する経費が34億円計上され、自衛隊員も90人から290人の隊員に増

員されることになりました。

2022年11月に「ミサイル配備から命を守る市民の会」を発足しました。目的は「台湾有事を想定した南西諸島の軍事要塞化に反対し、沖縄を再び戦場にさせないこと」です。活動方針は、①ミサイル写真展、講演会、学習会の開催、②うるま市当局及び市議会、県知事、県議会への要請、③沖縄防衛局、および政府諸機関への要請、④市民集会、抗議行動の実施等を掲げ反対運動を強化することです。

週1回金曜日に具志川地区、与勝地区でのスタンディングの実施、「自衛隊勝連分屯地への地対艦ミサイル配備及びミサイル連隊本部創設断念を求める要請」の署名活動も展開中。2023年10月12日には、ミサイル配備から命を守るうるま市民の会、自衛隊の弾薬庫等建設に反対する沖縄市民の会等10の団体

共催による「戦争準備の日米合同訓練反対！弾薬庫建設・ミサイル配備許さない市民の会」を、沖縄市ゴヤ十字路で開催。県内各地から約1000名余が参加しました。集会後は嘉手納基地第2ゲート前までデモ行進しました。旧石川市の元市長や元市議らは保革を超え「自衛隊訓練場設置計画の断念を求める会」準備会に参加しています。



子どもや孫たちが 西原町民会議 平和な未来を描けるために！

「建白書」を実現する西原町民会議は、二〇一五年四月二十七日に結成総会を行い設立しました。

二〇一五年六月二十五日より辺野古新基地建設阻止座り込み抗議行動を開始。二〇二四年二月八日には三五七回目を迎えました。当初は観光バスでしたが、その後二六人乗りのマイクロバスに切り替え、今は、一〇人乗りレンタカーで現地行動を継続しています。

毎週木曜日(第二木曜日は塩川行動へ)辺野古ゲート前で、十二時と十五時の二回の座り込み抗議行動に参加、塩川では午後三時まで牛歩戦術に取り組んでいます。第三火曜日は、安和塩川行動へ参加し。第一土曜日の辺野古大行動は、辺野古参加メンバーと西原町小那覇交差点でのブルーアクションメンバーとの二手に分かれて抗議行動を行っています。

「代執行」により大浦湾側の埋め立て工事が強行されてからは、ワジーワジーのボルテージが上がり参加者が増えています。また、防衛局長への抗議行動へも乗り合わせで参加しています。戦争につながる基地は絶対に造らせない。二度と沖縄を戦場にさせないため、子どもや孫たちが平和な未来を描けるために諦めずに町民のみなさんと共に行動していきます。



屋休みデモが40周年



不屈館11周年企画
佐古忠彦氏講演会
3月10日(日)
午後1時 DVD上映
「米軍が最も恐れた男～あなたはカメローを知っていますか?～」
2016年放送 TV版(49分) TBS製作
午後2時～3時半
佐古さん講演会
定員 40名
参加費 1,000円
(会員様も有料になります)
場所 不屈館
那覇市若狭2-21-5
お申し込みやお問合せは不屈館まで！
Tel 098-943-8374 【定休日】月・火
※駐車場には限りがございます。
お近くのコインパーキングをご利用くださいませ